

自分の考えを伝えたくなる指導の工夫

～2年生「長さ」の実践より～

長岡市立希望が丘小学校 教諭 荒木隆幸

1 はじめに

平成24年度の学習指導改善調査の結果から、自分の考えや友達のことを表現する力の育成についての課題が指摘されている。4月から担任している2年生の学級においても自分の考えを書いたり、説明したりする場面になると止まってしまう子どもが多く見られた。

その原因として、子どもの意識の中に「算数は答えが出せばよい」と捉え、考えを伝える必要感が乏しいのではないかと考えた。

そこで、本実践では子どもたちが自分の考えを友達に伝えたくなる場面を意図的に設定することで言語活動を活性化させ、表現力が育つ指導をめざして授業改善に取り組んだ。

2 実践のポイント

(1) 子どもの困り感を基にした課題設定

学習課題を教師主導でなく、子どもたちの困り感を基に設定していく。課題自体は教科書の問題でも、解決の過程で見えてきた「ここが難しい」というポイントを学級で解決すべき「問い」として設定する。「困っている友達のために何とかしたい」という思いをもたせ、説明する必要性をもたせたい。

(2) ペアを基盤に説明の再現活動を行う学習形態の工夫

学習は主にペア活動を中心にし、困っていることを気軽に相談できるようにする。子どもたちが安心感をもって自己表現できる場を設定した。

そして、代表の子どもが全体に向けて説明した内容をペアで再現する活動を取り入れる。これによって全員に言語活動の場を保障するとともに、「代表の人のように説明したい」という意欲をもたせたい。

(3) 表現力を高める「学習のまとめ」の設定

1時間の学習のまとめとしてミニ作文を書かせる。このミニ作文は算数を知らない人（本実践では自分オリジナルのポケモン）に学習した内容を分かりやすく伝えることを目標にする。相手意識をもたせることで意欲を、分かりやすい内容を求めることで表現力を向上させていきたい。

3 指導の実際（2年生「長さ」 本時10/14 児童数22名）

(1) 子どもの困り感を基にした課題設定

本時では図1を提示し、「赤い道の長さを求めよう」と投げかけた。前時まではものさしで直線しか測ったことが無かったため、子どもたちからは以下のような反応が出た。

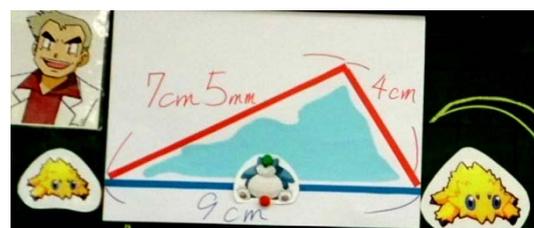


図1 提示した問題図

C1：長さが測れません。

T1：(C1)さんはどうして長さが測れないって言っているのかな？

C2：道が曲がっているからだよ。 C3：長さが二つあるからじゃない？

このように、子どもの分からなさには焦点を当てていくことで、友達の考えを想像し、説明する姿が見られた。そして、学級で解決すべき「問い」が「◎曲がった長さを測るためにどうしたらいいか」と設定された。

その後、曲がっているから測れないという友達を相手に、どうやって長さを測るか説明する活動を行った。相手が分かりやすいように、具体物を用いて自分の考えを説明することができた。(図2)

(2) ペアを基盤に説明の再現活動を行う学習形態の工夫

全体での説明をした後、ペア同士で同じ説明を再現させた。どのペアも曲がっている長さを測る方法を相手に説明することができた。その際、相手に伝わるよう具体物を利用したり、絵や図を描いたりするよう指導を行った。

曲がった道をまっすぐ伸ばしてつなげると測ることができるよ。



図2 具体物で説明する子

また、授業の最後に $7\text{ cm }5\text{ mm} + 4\text{ cm}$ をどのように計算するか議論になった。その中で、「cm同士をたし算する」考え方に納得する子が多かったので、次のように促した。

C3：7 cmと4 cmを先に計算して11 cm、5 mmが残っているから合わせて11 cm 5 mm。

T1：じゃあ、(C3の子ども)がどんなことを言ったか、お隣さんに話してみましよう。

すべてのペアが、たし算の考え方を説明することができた。説明が得意な子は自分なりにより分かりやすく工夫した表現で説明を行い、考えを話すことが苦手な子も上手な子の説明を真似したり、ペアの子からアドバイスをもらったりしながら最後まで説明を行うことができた。

(3) 表現力を高める「学習のまとめ」の設定

対象児Aの書いたまとめを本単元とそれ以前のもので比較する。どちらも学習内容は「位をそろえて計算する」ことのまとめである。

・「たし算のひっさん」でのまとめ

$2 + 41$ は $2 + 1$ を先にして、答えが 43 になります。

・本時のまとめ

今日は長さのたし算をしたよ。 $7\text{ cm }5\text{ mm} + 4\text{ cm}$ という問題だったよ。 4 cm をたす時に単位に気をつけてたし算するよ。cmとcmだから $7 + 4$ で 11 cm だよ。5 mm残っているから 合わせて $11\text{ cm }5\text{ mm}$ だよ。

本単元では他者を意識してまとめを書かせることにより、以前では単純にやったことのまとめとなっていたものが、下線部のように詳しく説明する表現が見られるようになった。相手意識をもたせたことで表現力の向上が見られた。

4 おわりに

子どもたちに自分の考えや友達の考えを表現する力をつけさせるためには、単元レベルでの実践ではなく、年間を通して「話したくなる、表現したくなる場」を設定することが欠かせない。そのために、課題設定や学習形態をより工夫し、様々な教科、単元、場面で有効に活用できる手立てを今後も研究していきたい。